



労働局長による「年末公開安全衛生パトロール」を実施しました！

～東北6労働局の労働局長が一斉に実施～

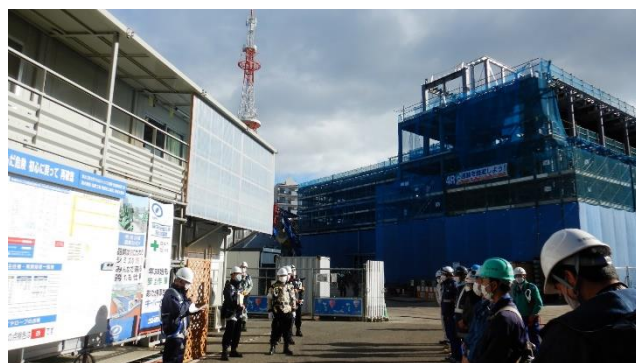
令和3年12月15日（水）、宮城労働局では、宮城年末年始労働災害強化運動（令和3年12月1日～令和4年1月31日）の一環として、「東北工業大学八木山キャンパス実験・教育棟新築工事」（施工者 清水建設・仙建工業・阿部和工務店建設工事共同企業体）において労働局長によるパトロールを実施しました。

年末は業務の繁忙、積雪・凍結により労働災害の増加が懸念されることから、東北6労働局の労働局長が、この時期に一斉パトロールとして実施したものです。

令和3年の宮城県内の建設業の死亡者数は11月末で4名と前年同期に比べて増加しており、パトロールでは、墜落・転落防止、転倒防止の実施状況を点検したほか、新型コロナウイルス感染症防止対策の状況も確認しました。



清水支店長からデッキスラブの崩壊防止等の説明を受ける小林局長。



小林局長から現場の皆さんに激励と、年末の災害防止の声掛けを行いました。



結城所長から外部足場の説明を受ける小林局長。



吹き抜け部分の墜落防止対策を点検しました。



千葉支部長と千葉署長から総評を行いました。

今回のパトロールは、建設工事関係者ゼロ災推進連絡会議として、宮城労働局長のほか、建設業労働災害防止協会宮城県支部長、仙台労働基準監督署長ほか実施しました。

【お問合せ先】宮城労働局労働基準部健康安全課
(☎022-299-8839)